

2015年度通年および第4四半期の業績を発表

February 10, 2016

本資料は、米国アッヴィ社が2016年1月29日（米国時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳し、2月10日、皆様のご参考に供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料（英文）については、www.abbvie.comをご覧ください。なお、本文中には日本未承認薬に関する情報が含まれています。

2015年度通年および第4四半期の業績を発表

- 通年の調整後EPSは4.29ドルで、29.2%の増。GAAPのEPSは3.13ドル。
- 通年の調整後売上高は228億1900万ドルで、22.1%の増。GAAPの売上高は228億5900万ドルで14.5%の増。
- 2015年度の調整後売上営業利益率は42.3%に向上し、610ベースポイントの伸び。調整後総利益率は82.9%で、280ベースポイントの伸び。
- 第4四半期の調整後EPSは1.13ドルで、27%の増。GAAPのEPSは0.92ドル。
- 第4四半期の調整後売上高は24.4%増の63億6000万ドル。GAAPの売上高は17.4%増の64億ドル。
- 第4四半期における売上高の増加は、ヒュミラの全世界での調整後売上高の16.0%増を反映している。ヒュミラの全世界での調整前売上高は10.5%増。
- 第4四半期のIMBRUVICAの全世界での売上高は3億4300万ドル。第4四半期のVIEKIRAの全世界での売上高は5億5400万ドル。
- 2016年度の調整後EPS見通しは、4.90ドル～5.10ドルに確定。2015年度に対して2桁の力強い伸びを反映している。

米国イリノイ州ノースシカゴ（2016年1月29日）－アッヴィ（NYSE：ABBV）は、本日、2015年度第4四半期（2015年12月31日終了）および通年の業績を発表しました。

アッヴィの会長兼CEOのリチャード・A・ゴンザレスは次のように述べています。「2015年、アッヴィは当初予測していた年間売上高・売上利益の伸び・収益を上回る、力強い業績を挙げました。2015年は意義深い成長を遂げた年でした。2016年もこの勢いのまま、引き続き力強い業績を達成できるものと予測しています。」

第4四半期の業績

- 第4四半期の全世界での調整後売上高は63億6000万ドルで、18.4%増でした。調整後売上高は、6.0%の為替レート変動によるマイナスの影響を除くと、24.4%増でした。
- ヒュミラの全世界での調整後売上高は、為替レート変動による影響を除くと、16.0%増でした。三大市場であるリウマチ科・皮膚科・消化器科の全てにおける継続的な躍進に牽引され、ヒュミラの米国内売上高は20.7%という非常に大きな成長を遂げています。ヒュミラの米国外売上高は、第4四半期にも力強い成長を見せ、調整後で9.7%の伸びになっています。今期の米国外におけるヒュミラの調整前売上高は、為替レート変動によるマイナスの影響により、13.1%減少しました。
- 第4四半期のIMBRUVICAの全世界売上高は3億4,300万ドルで、そのうち米国内の売上高が2億9,500万ドル、米国外利益分配が4,800万ドルです。
- 全社売上高の増加に関しては、VIEKIRAの全世界での売上高が5億5,400万ドルを記録したことに加え、Duodopa、Creon、Lupronの力強い成長に牽引されました。
- 第4四半期における調整後売上総利益率は、無形資産の償却費およびその他の特定項目を除き、80.5%でした。GAAPベースの売上総利益率は、77.0%でした。
- 第4四半期の売上高に占める調整後販売費および一般管理費（SG&A）の割合は、23.9%でした。売上高に占めるSG&Aの割合は、GAAPベースで27.1%でした。
- 第4四半期の売上高に占める調整後研究開発費（R&D）の割合は、中期および後期パイプラインへの投資を反映し、15.9%となりました。売上高に占めるR&Dの割合は、GAAPベースで16.8%でした。
- 第4四半期の調整後売上営業利益率は40.1%でした（2014年同期は35.8%）。GAAPベースの営業利益率は、33.0%でした。
- 純支払利子は1億9,900万ドルでした。第4四半期における調整後の税率は21.6%、GAAPベースで21.1%でした。
- 第4四半期の調整希薄化後1株当たり利益（EPS）は、無形資産の償却費およびその他の特定項目を除き、27%増の1.13ドルでした。希薄化後EPSは、GAAPベースで0.92ドルでした。

第4四半期の主な出来事

- アッヴィは、第III相RESONATE™-2試験で得られた結果に基づき、治療歴のない慢性リンパ性白血病（CLL）の患者さんに使用するibrutinib（IMBRUVICA®）の適応追加申請（sNDA）を米国食品医薬品局（FDA）に申請しました。この試験のデータは*The New England Journal of Medicine*（NEJM）に公表されており、65歳以上の治療歴のないCLLの患者さんへのIMBRUVICA投与により、chlorambucilと比較して増悪または死亡のリスクが有意に減少し（無増悪生存期間、PFS）、死亡リスクが有意に減少する（全生存期間、OS）ことが示されています。
- アッヴィは、染色体17p欠失が認められる再発性／難治性（R/R）CLLの患者さんに対するvenetoclaxについて、FDAに新薬承認申請（NDA）を、欧州医薬品庁（EMA）に販売承認申請（MAA）を提出しました。第II相非盲検試験において、venetoclax単剤療法により、完全寛解を達成した患者さんを含めた奏効率（ORR）は79.4%でしたが、この結果に基づき、申請に対してFDAからは優先審査が許可され、EMAからは申請受け付けの通知を受領しました。
- アッヴィがFDAからvenetoclaxに対して受けたブレイクスルーセラピーの指定が、このたび3回になりました。1回目は昨前半、染色体17p欠失を伴うR/R CLLの患者さんの治療に対して、2回目は今月初め、染色体17p欠失の患者さんを含むR/R CLLの患者さんにおいてリツキシマブと併用投与するvenetoclaxに対して、3回目は今週、標準的導入療法（高用量化学療法）が適応ではない治療歴のない急性骨髄性白血病（AML）の患者さんにおいて、メチル化抑制剤（HMA）と併用投与するvenetoclaxに対して指定を受けました。
- アッヴィは、R/R CLLの患者さんを対象としたIMBRUVICAの第III相HELIOS試験で得られた安全性および有効性の結果を基に、FDAにラベリング案についてsNDAを申請しました。この試験では、治療歴のあるCLL/SLLの患者さんにおいて、IMBRUVICA＋ベンダムスチンとリツキシマブによる治療が、プラセボ＋リツキシマブによる治療と比較して疾患進行または死亡のリスクを有意に軽減し（80%の低下）、ORRを有意に改善することが示されました。
- FDAはアッヴィのsNDAを受理し、ジェノタイプ1b（GT1b）型慢性C型肝炎ウイルス（HCV）感染および代償性肝硬変（Child-Pugh分類A）を有する患者さんに対するribavirin非併用下のVIEKIRA PAKについて、優先審査を許可しました。この申請の裏付けデータはTURQUOISE-III試験から得られました。上述の患者集団を対象とするこの試験において、投与終了後12週時点で持続性ウイルス学的著効が認められた患者さんの割合（SVR₁₂）は100%でした。
- アッヴィは、GT1 HCVの治療薬として1日1回固定用量で投与するVIEKIRA PAKのNDAが、FDAにより受理されたことを発表しました。固定用量による投与レジメンとして、ribavirinの併用下または非併用下における食後1日1回3錠の経口投与を提案しています。アッヴィでは、2016年にはこの新規レジメンに対して規制当局からの動きがあるものと考えています。

- アッヴィは2015年12月に米国血液学会（ASH）年次総会において、治療歴がなく導入大量化学療法が適応ではない65歳以上のAMLの患者さんを対象としたvenetoclaxの第II相非盲検試験から得られた新たな結果を発表しました。このデータからは、venetoclaxとメチル化抑制剤の併用投与による完全奏効率は約71%であることが示されましたが、これは現在の標準治療で予測される奏効率の約2倍です。アッヴィでは、この適応でのvenetoclaxの登録試験を2016年に開始する予定です。
- IMBRUVICAに関するアッヴィのパートナーであるJanssen社は、第III相RAY試験の結果を発表しました。この試験では、R/Rマントル細胞リンパ腫（MCL）の患者さんにおいて、IMBRUVICA投与はtemsirolimusと比較してPFSを有意に延長し、ORRを改善することが示されています。具体的には、IMBRUVICA投与により、フォローアップ期間中中央値20カ月の時点で、疾患進行または死亡のリスクが57%減少することが示されました。このデータは*The Lancet*のオンライン版にも公表されています。
- アッヴィは、治療歴のない濾胞性リンパ腫（FL）の患者さんにおいてIMBRUVICAを評価した第II相試験のデータから、IMBRUVICAとリツキシマブの併用投与は忍容性良好であり、ORRは82%であると発表しました。
- アッヴィは、2015年米国肝臓学会（AASLD）年次総会において、次世代HCV薬（ABT-493およびABT-530）のデータを発表しました。同薬はHCVの患者さんに対する、すべての遺伝子型に有効な1日1回投与の治療オプションとして評価されているものです。データでは、12週間の投与後において、GT1型の非肝硬変性HCVでのSVR₁₂は97～100%、遺伝子型2（GT2）では96～100%、遺伝子型3（GT3）では83～94%であることが示されています。さらに同年次総会ではSURVEYOR-I試験からのデータも発表され、ABT-493とABT-530の投与を短期間（8週間）受けた非肝硬変性GT1型HCVの患者さんにおいて、97%のSVR₁₂が達成されたことが示されました。アッヴィは、2015年度の第4四半期に第III相試験を開始しています。
- アッヴィは米国リウマチ学会（ACR）年次総会において、治療薬の経口JAK-1阻害薬ABT-494について、BALANCE-I試験から得られた第IIb相における12週間の安全性データを発表しました（有効性データについては、過去に主要な出来事として取り上げています）。この試験では、治療歴があり、持続性および活動性の関節リウマチ（RA）を有する患者さんにおける、JAK-1選択性の境界およびプラセボと比較したABT-494の有効性を理解するため、広範な用量範囲が評価されました。試験の結果、LOCF法を用いた場合に12週間の投与後にACR20の改善が、また、全ての用量レベルでのACR20の改善が達成され、主要評価項目が達成されました。BALANCE IおよびII試験の結果を受けて、アッヴィでは、ABT-494の1日1回投与レジメンを第III相試験へと進めることを決定しました。ABT-494の第III相プログラムは2015年後半に開始されました。また、第II相試験は現在クローン病治療を対象として実施中です。
- FDAは、1～3回の治療歴のある多発性骨髄腫（MM）の患者さんに対する併用療法による治療薬として、Empliciti（elotuzumab）を承認しました。EmplicitiはアッヴィとBristol-Myers Squibb社（BMS）により共同開発され、BMSが販売します。この承認の根拠となったのは第III相試験からのデータで、このデータでは、標準治療を単独で受けた患者さんと比較して、Empliciti+標準治療の併用療法を受けた患者さんでは、疾患進行または死亡のリスクが30%減少したことが示されています。これは、MMに対する免疫刺激抗体として、この適応における初のFDA承認です。

2016年度通年の見通しの確定

アッヴィは、2016年度通年の調整希薄化後1株当たり利益の見通しを4.90ドル～5.10ドルと確定しました。これは、2015年度に対して2桁の力強い伸びを示し、アッヴィが2016年度もさらなる成長を達成する、業界のリーダーであることを位置づけるものです。2016年度の調整希薄化後1株当たり利益の見通しには、1株当たり0.45ドルの無形資産の償却費およびその他の特定項目は含まれていません。これらの項目を含めたアッヴィのGAAPベースの希薄化後1株当たり利益の見通しは、4.45ドル～4.65ドルです。

アッヴィについて

アッヴィは、アボットラボラトリーズからの分社を経て2013年に設立された、研究開発型のグローバルなバイオ医薬品企業です。専門知識や献身的な社員・イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、世界で最も複雑かつ深刻な疾患領域における先進的な治療薬を開発・提供することをミッションに掲げています。アッヴィは、100%子会社のファーマサイクリクス社を含めて世界で28,000人以上を雇用し、170カ国以上で医薬品を販売しています。当社の概要や人材・製品群・コミットメントに関する詳細はwww.abbvie.comをご覧ください。よろしければTwitterアカウント@abbvieもフォローください。また、人材情報は[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)や[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) ページをご参照ください。

電話会議

アッヴィの主催により、本日午前8:00（中部時間）に投資家のみなさまを対象とした電話会議を開催いたします。会議では第4四半期の業績について議論します。電話会議はアッヴィ投資家向けウェブサイトwww.abbvieinvestor.com上でインターネット配信されます。電話会議のアーカイブは午前11:00（中部時間）以降ご覧になれます。

非GAAPの業績

2014年度および2015年度の業績に関して、調整前（GAAP）および調整後（非GAAP）の両方で提示しています。調整前の業績はGAAPに従って作成したもので、同期間に計上された全ての売上高と費用を含んでいます。非GAAPの業績は、特定の非現金項目と予測不能な臨時的要因について調整を行ったもので、それらの費用、支出およびその他の特定項目（以下に掲載する調整表に記載）を除外しています。アッヴィの経営陣は、非GAAPの財務指標はアッヴィの業績に関する有用な情報を投資家に提供し、経営陣、アナリストおよび投資家が業績を評価する際に役立つと考えています。非GAAPの財務指標はGAAPに従って作成される財務指標を補足するものであり、これに代わるものではありません。また、当社の2016年度財務見通しに関しても、調整前と非GAAPベースの両方で提示しています。

今後の見通しに関する陳述

本リリースにおける記載には、Private Securities Litigation Reform Act of 1995（1995年米国私券証券訴訟改革法）に示される「今後の見通しに関する陳述」が含まれています。「確信」「期待」「予測」「計画」という言葉およびそれに類する表現は、一般に将来予想に関する陳述となります。当社からの注意喚起として、このような将来予想に関する陳述はリスクおよび不確実性による影響を受け、実際の結果と将来予想に関する陳述での予測との間に大幅な相違が生じる可能性があります。このようなリスクおよび不確実性には、知的財産に対する脅威、他社製品との競合、研究および開発プロセスに特有の困難、敵対的訴訟または政府による介入、業界に関連する法律および規制の変更などがあります。アッヴィの経営に影響を及ぼす可能性のある経済、競合状況、政府、科学技術およびその他の要因については、Securities and Exchange Commission（米国証券取引委員会）に提出済みのアッヴィの2014年度アニュアルレポート（10-K書式）の1A項「リスク要因」およびアッヴィの2015年度第2四半期レポート（10-Q書式）Part 2の1A項「リスク要因」に記載しています。アッヴィは、法律で要求される場合を除き、本リリースの発表後に発生した出来事または変化によって、今後の見通しに関する陳述を更新する義務を負わないものとします。

アッヴィ

主要製品の売上高

第4四半期（2015年12月31日終了）

（未監査）

| | 前年同期比 | | | | | | | |
|---------------------|----------------------|-----------------|----------------------|--------------------|-------|--------|--------------------|--------------------|
| | 売上高（単位：100万米ドル） | | | 米国 | 米国外 | | 合計 | |
| | 米国 | 米国外 | 合計 | | 調整後 | 調整前 | 調整後 | 調整前 |
| 調整後売上高 ^a | \$3,811 ^a | \$2,549 | \$6,360 ^a | 23.6% ^a | 25.4% | 11.4% | 24.4% ^a | 18.4% ^a |
| Humira | 2,332 | 1,385 | 3,717 | 20.7 | 9.7 | (3.4) | 16.0 | 10.5 |
| Imbruvica | 295 | 48 ^b | 343 | n/m | n/m | n/m | n/m | n/m |
| Viekira | 197 | 357 | 554 | n/m | n/m | n/m | n/m | n/m |
| Creon | 185 | -- | 185 | 22.8 | n/a | n/a | 22.8 | 22.8 |
| Synagis | -- | 266 | 266 | n/a | (1.2) | (10.7) | (1.2) | (10.7) |
| Lupron | 189 | 46 | 235 | 17.9 | 7.7 | (1.9) | 15.6 | 13.4 |
| Synthroid | 194 | -- | 194 | 3.7 | n/a | n/a | 3.7 | 3.7 |
| Kaletra | 40 | 145 | 185 | (21.8) | 5.9 | (4.6) | (1.0) | (8.9) |
| AndroGel | 194 | -- | 194 | (15.7) | n/a | n/a | (15.7) | (15.7) |
| Sevoflurane | 22 | 86 | 108 | 1.6 | (0.5) | (13.2) | (0.1) | (10.5) |
| Duodopa | 6 | 56 | 62 | n/m | 14.5 | (0.2) | 24.4 | 9.7 |

注：「調整後」の数値には、為替変動の影響を排除した前年同期比の変化率が反映されています。

n/a = 該当なし

n/m = 無意味

^a いずれの年度についても、米国内および合計の売上高に特定項目は含まれていません。詳細は、「GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報」を参照のこと。変化率は調整後売上高を基に算出されています。

^b Imbruvicaの米国外の売上高に関する利益分配が反映されています。

アツヴィ
主要製品の売上高
12カ月（2015年12月31日終了）
（未監査）

| | - | | | 前年同期比 | | | | |
|---------------------|-----------------------|-----------------|-----------------------|--------------------|-------|--------|--------------------|--------------------|
| | 売上高（単位：100万米ドル） | | | 米国 | 米国外 | | 合計 | |
| | 米国 | 米国外 | 合計 | | 調整後 | 調整前 | 調整後 | 調整前 |
| 調整後売上高 ^a | \$13,521 ^a | \$9,298 | \$22,819 ^a | 25.6% ^a | 17.9% | 2.0% | 22.1% ^a | 14.8% ^a |
| Humira | 8,405 | 5,607 | 14,012 | 28.8 | 8.6 | (6.9) | 19.1 | 11.7 |
| Imbruvica | 659 | 95 ^b | 754 ^c | n/m | n/m | n/m | n/m | n/m |
| Viekira | 804 | 835 | 1,639 | n/m | n/m | n/m | n/m | n/m |
| Creon | 632 | -- | 632 | 22.5 | n/a | n/a | 22.5 | 22.5 |
| Synagis | -- | 740 | 740 | n/a | 0.6 | (11.3) | 0.6 | (11.3) |
| Lupron | 653 | 173 | 826 | 12.5 | (0.2) | (12.9) | 9.3 | 6.1 |
| Synthroid | 755 | -- | 755 | 6.4 | n/a | n/a | 6.4 | 6.4 |
| Kaletra | 163 | 537 | 700 | (23.8) | (4.9) | (18.2) | (9.6) | (19.6) |
| AndroGel | 694 | -- | 694 | (25.7) | n/a | n/a | (25.7) | (25.7) |
| Sevoflurane | 81 | 393 | 474 | (2.5) | (4.0) | (15.9) | (3.8) | (13.9) |
| Duodopa | 12 | 219 | 231 | n/m | 18.1 | (0.6) | 23.5 | 4.8 |

注：「調整後」の数値には、為替変動の影響を排除した前年同期比の変化率が反映されています。

n/a = 該当なし

n/m = 無意味

^a いずれの年度についても、米国内および合計の売上高に特定項目は含まれていません。詳細は、「GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報」を参照のこと。変化率は調整後売上高を基に算出されています。

^b Imbruvicaの米国外の売上高に関する利益分配が反映されています。

^c 5月26日に完了したファーマサイクリックス社買収によるImbruvicaの収益が反映されています。

アツヴィ

連結損益計算書

第4四半期および12カ月（2014および2015年12月31日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

| | 第4四半期 (12月31日終了) | | 12カ月 (12月31日終了) | | |
|----------------------|---------------------|----------|--------------------|----------|----|
| | 2015 | 2014 | 2015 | 2014 | |
| 売上高 | \$6,400 | \$5,452 | \$22,859 | \$19,960 | |
| 売上原価 | 1,475 | 1,119 | 4,500 | 4,426 | |
| 販売費および一般管理費 | 1,737 | 3,341 | 6,387 | 7,724 | |
| 研究開発費 | 1,075 | 879 | 4,285 | 3,297 | |
| 外部調達による仕掛研究開発費 | -- | 28 | 150 | 352 | |
| その他費用 | -- | 500 | -- | 750 | |
| 営業経費合計 | 4,287 | 5,867 | 15,322 | 16,549 | |
| 営業利益（損失） | 2,113 | (415) | 7,537 | 3,411 | |
| 支払利子（正味） | 199 | 129 | 686 | 391 | |
| 正味為替差損 | 2 | 496 | 193 | 678 | |
| その他（利益）費用（正味） | (12) | (3) | 13 | (27) | |
| 法人税控除前利益（損失） | 1,924 | (1,037) | 6,645 | 2,369 | |
| 法人税等 | 407 | (227) | 1,501 | 595 | |
| 純利益（損失） | \$1,517 | \$(810) | \$5,144 | \$1,774 | |
| 希薄化後1株当たり利益（損失） | \$0.92 | \$(0.51) | \$3.13 | \$1.10 | |
| 希薄化後1株当たり利益（特定項目を除く） | \$1.13 | \$0.89 | \$4.29 | \$3.32 | a) |
| 平均希薄化後発行済株式数 | 1,640 | 1,597 | 1,637 | 1,610 | |

a) 詳細は、「GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報」を参照のこと。

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

第4四半期（2015年12月31日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

| | 2015年第4四半期 | | |
|--------------------|------------|---------|--------|
| | 純利益 | | 希薄化後 |
| | 税引前 | 税引後 | EPS |
| 調整前（GAAP） | \$1,924 | \$1,517 | \$0.92 |
| 特定項目を調整： | | | |
| その他収益 | (40) | (25) | (0.02) |
| 無形固定資産の償却 | 140 | 116 | 0.07 |
| ファーマサイクリックス社買収関連費用 | 105 | 68 | 0.04 |
| 事業再編 | 79 | 58 | 0.04 |
| 法定準備金 | 125 | 101 | 0.06 |
| 分社化費等 | 43 | 26 | 0.02 |
| 調整後（非GAAP） | \$2,376 | \$1,861 | \$1.13 |

その他収益は、過去に発表した提携での目標達成報奨金に関連するものです。無形固定資産の償却は、ライセンス活動および買収活動の結果として計上した費用を反映しています。ファーマサイクリックス社買収関連費用は、買収関連補償金、統合およびファーマサイクリックス社の買収に関連するその他の費用を反映しています。事業再編は主に全世界的な経営合理化に関連したものです。分社化費用等とは、主にアッヴィのアボット社からの分社化に関連するものです。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

| | 2015年第4四半期 | | | |
|--------------------|------------|---------|-------------|---------|
| | 売上高 | 売上原価 | 販売費および一般管理費 | 研究開発費 |
| 調整前（GAAP） | \$6,400 | \$1,475 | \$1,737 | \$1,075 |
| 特定項目を調整： | | | | |
| その他収益 | (40) | -- | -- | -- |
| 無形固定資産の償却 | -- | (140) | -- | -- |
| ファーマサイクリックス社買収関連費用 | -- | (49) | (15) | (41) |
| 事業再編 | -- | (24) | (39) | (16) |
| 法定準備金 | -- | -- | (125) | -- |
| 分社化費等 | -- | (16) | (27) | -- |
| 調整後（非GAAP） | \$6,360 | \$1,246 | \$1,531 | \$1,018 |

3. 以下に詳細を示すとおり、2015年度第4四半期の調整後税率は21.6%でした。

| | 2015年第4四半期 | | |
|-------------|------------|-------|-------|
| | 法人税控除前 | 法人税 | 税率 |
| 調整前 (GAAP) | \$1,924 | \$407 | 21.1% |
| 特定項目 | 452 | 108 | 23.9% |
| 調整後 (非GAAP) | \$2,376 | \$515 | 21.6% |

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

第4四半期（2014年12月31日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

| | 2014年第4四半期 | | |
|----------------|------------|---------|----------|
| | 純利益 | | 希薄化後 |
| | 税引前 | 税引後 | EPS |
| 調整前（GAAP） | (\$1,037) | (\$810) | (\$0.51) |
| 特定項目を調整： | | | |
| その他収益 | (81) | (81) | (0.05) |
| 無形固定資産の償却 | 96 | 69 | 0.04 |
| 外部調達による仕掛研究開発費 | 28 | 29 | 0.02 |
| Calico社との提携費用 | 500 | 500 | 0.31 |
| Shire社取引費用 | 2,227 | 1,623 | 1.00 |
| 分社化費等 | 134 | 116 | 0.08 |
| 調整後（非GAAP） | \$1,867 | \$1,446 | \$0.89 |

その他収益は、主にライセンス契約の合意結果として、2014年度第4四半期において計上された前期のロイヤルティ収入です。無形固定資産の償却は、ライセンス活動および買収活動の結果として計上した費用を反映しています。外部調達による仕掛研究開発費とは、サードパーティーとのライセンス契約に関連する前払い金を反映しています。Calico社との提携費用は、過去に発表したCalico社との提携に関連して記録された支払いを反映しています。Shire社取引費用は、終了したShire社との取引に関連するものです。分社化費用等とは、主にアッヴィのアボット社からの分社化に関連するものです。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

| | 2014年第4四半期 | | | | | | | |
|----------------|------------|---------|---------------------|-----------|----------------------------|-------------|-------|--------------------|
| | 売上高 | 売上原価 | 販売費 および 一般管理費 | 研究 開発費 | 外部調達に よる 仕掛研究開 発費 | その他 営業経費 | 支払利子 | 正味為替差 損 (差益) |
| 調整前 (GAAP) | \$5,452 | \$1,119 | \$3,341 | \$879 | \$28 | \$500 | \$129 | \$496 |
| 特定項目を調整： | | | | | | | | |
| その他収益 | (81) | -- | -- | -- | -- | -- | -- | -- |
| 無形固定資産の償却 | -- | (96) | -- | -- | -- | -- | -- | -- |
| 外部調達による仕掛研究開発費 | -- | -- | -- | -- | (28) | -- | -- | -- |
| Calico社との提携費用 | -- | -- | -- | -- | -- | (500) | -- | -- |
| Shire社取引費用 | -- | -- | (1,660) | -- | -- | -- | (66) | (501) |
| 分社化費等 | -- | (15) | (117) | (2) | -- | -- | -- | -- |
| 調整後 (非GAAP) | \$5,371 | \$1,008 | \$1,564 | \$877 | -- | -- | \$63 | (\$5) |

3. 以下に詳細を示すとおり、2014年度第4四半期の調整後税率は22.5%でした。

| | 2014年第4四半期 | | |
|-------------|------------|---------|-------|
| | 法人税控除前 | 法人税 | 税率 |
| 調整前 (GAAP) | (\$1,037) | (\$227) | 21.9% |
| 特定項目 | 2,904 | 648 | 22.3% |
| 調整後 (非GAAP) | \$1,867 | \$421 | 22.5% |

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

12カ月（2015年12月31日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

| | 2015年12カ月通算 | | |
|---------------------|----------------|----------------|---------------|
| | 純利益 | | 希薄化後 |
| | 税引前 | 税引後 | EPS |
| 調整前（GAAP） | \$6,645 | \$5,144 | \$3.13 |
| 特定項目を調整： | | | |
| その他収益 | (40) | (25) | (0.02) |
| 無形固定資産の償却 | 419 | 328 | 0.20 |
| 分社化費用 | 270 | 223 | 0.13 |
| ファーマサイクリックス社買収関連費用 | 645 | 410 | 0.25 |
| 目標達成報奨金およびその他の研究開発費 | 480 | 433 | 0.26 |
| 外部調達による仕掛研究開発費 | 150 | 150 | 0.09 |
| Shire社提携解消費用 | 170 | 170 | 0.10 |
| 事業再編 | 113 | 82 | 0.06 |
| 法定準備金 | 165 | 129 | 0.08 |
| その他 | 23 | 16 | 0.01 |
| 調整後（非GAAP） | \$9,040 | \$7,060 | \$4.29 |

その他収益は、過去に発表した提携での目標達成報奨金に関連するものです。無形固定資産の償却は、ライセンス活動および買収活動の結果として計上した費用を反映しています。分社化費用とは、アッヴィのアボット社からの分社化に関連するものです。ファーマサイクリックス社買収関連費用は、買収関連補償金、取引、融資、統合およびファーマサイクリックス社の買収に関連するその他の費用を反映しています。目標達成報奨金およびその他の研究開発費は、過去に発表した業務提携に対する目標達成報奨金およびサードパーティーから購入したFDA優先審査バウチャーの購入に関連しています。外部調達による仕掛研究開発費は主にC₂Nとの提携を反映しています。Shire社提携解消費用は、2014年度第4四半期で発表したとおり、終了したShire社との取引に関連する、残りの外貨ポジションの精算完了を反映しています。事業再編は主に全世界的な経営合理化に関連したものです。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

| | 2015年12カ月通算 | | | | | | |
|---------------------|-------------|---------|---------------------|-----------|------------------------|-------|------------|
| | 売上高 | 売上原価 | 販売費 および一般 管理費 | 研究 開発費 | 外部調達に よる仕掛 研究開発費 | 支払利子 | 正味 為替差損 |
| 調整前 (GAAP) | \$22,859 | \$4,500 | \$6,387 | \$4,285 | \$150 | \$686 | \$193 |
| 特定項目を調整： | | | | | | | |
| その他収益 | (40) | -- | -- | -- | -- | -- | -- |
| 無形固定資産の償却 | -- | (419) | -- | -- | -- | -- | -- |
| 分社化費用 | -- | (5) | (265) | -- | -- | -- | -- |
| ファーマサイクリックス社買収関連費用 | -- | (113) | (294) | (152) | -- | (86) | -- |
| 目標達成報奨金およびその他の研究開発費 | -- | -- | -- | (480) | -- | -- | -- |
| 外部調達による仕掛研究開発費 | -- | -- | -- | -- | (150) | -- | -- |
| Shire社提携解消費用 | -- | -- | -- | -- | -- | -- | (170) |
| 事業再編 | -- | (42) | (39) | (32) | -- | -- | -- |
| 法定準備金 | -- | -- | (165) | -- | -- | -- | -- |
| その他 | -- | (16) | (3) | (4) | -- | -- | -- |
| 調整後 (非GAAP) | \$22,819 | \$3,905 | \$5,621 | \$3,617 | -- | \$600 | \$23 |

3. 以下に詳細を示すとおり、2015年度通年の調整後税率は21.9%でした。

| | 2015年12カ月通算 | | |
|-------------|-------------|---------|-------|
| | 法人税控除前 | 法人税 | 税率 |
| 調整前 (GAAP) | \$6,645 | \$1,501 | 22.6% |
| 特定項目 | 2,395 | 479 | 20.0% |
| 調整後 (非GAAP) | \$9,040 | \$1,980 | 21.9% |

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

12カ月（2014年12月31日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

| | 2014年12カ月通算 | | |
|---------------------|----------------|----------------|---------------|
| | 純利益 | | 希薄化後 |
| | 税引前 | 税引後 | EPS |
| 調整前（GAAP） | \$2,369 | \$1,774 | \$1.10 |
| 特定項目を調整： | | | |
| その他収益 | (81) | (81) | (0.05) |
| 無形固定資産の償却 | 403 | 287 | 0.18 |
| 分社化費用 | 445 | 385 | 0.24 |
| 目標達成報奨金およびその他の研究開発費 | 40 | 40 | 0.02 |
| 外部調達による仕掛研究開発費 | 352 | 251 | 0.15 |
| Calico社との提携費用 | 750 | 750 | 0.46 |
| Shire社取引費用 | 2,510 | 1,802 | 1.12 |
| その他 | 136 | 167 | 0.10 |
| 調整後（非GAAP） | \$6,924 | \$5,375 | \$3.32 |

その他収益は、主にライセンス契約の合意結果として、2014年度第4四半期において計上された前期のロイヤルティ収入です。無形固定資産の償却は、ライセンス活動および買収活動の結果として計上した費用を反映しています。分社化費用とは、アッヴィのアボット社からの分社化に関連するものです。目標達成報奨金およびその他の研究開発費は、過去に発表した業務提携に関連しています。外部調達による仕掛研究開発費は、過去に発表した提携に関連する前払い金を反映しています。Calico社との提携費用は、過去に発表したCalico社との提携に関連する支払いを反映しています。Shire社取引費用は、終了したShire社との取引に関連するものです。その他は、主に新たなIRS規制によって定められた追加1年分のブランド医薬品の処方料の計上に関連しています。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

| | 2014年12カ月通算 | | | | | | | | |
|-------------------------|-------------|---------|---------------------|-----------|------------------------|-------------|------------|----------|-------------------|
| | 売上高 | 売上原価 | 販売費 および 一般管理費 | 研究 開発費 | 外部調達に よる仕掛研 究開発費 | その他 営業経費 | 正味 為替差損 | 支払 利子 | その他 (利益) 費用 |
| 調整前 (GAAP) | \$19,960 | \$4,426 | \$7,724 | \$3,297 | \$352 | \$750 | \$678 | \$391 | (\$27) |
| 特定項目を調整： | | | | | | | | | |
| その他収益 | (81) | -- | -- | -- | -- | -- | -- | -- | -- |
| 無形固定資産の償却 | -- | (403) | -- | -- | -- | -- | -- | -- | -- |
| 分社化費用 | -- | (18) | (422) | (5) | -- | -- | -- | -- | -- |
| 目標達成報奨金およびその他の研究 開発費 | -- | -- | -- | (40) | -- | -- | -- | -- | -- |
| 外部調達による仕掛研究開発費 | -- | -- | -- | -- | (352) | -- | -- | -- | -- |
| Calico社との提携費用 | -- | -- | -- | -- | -- | (750) | -- | -- | -- |
| Shire社取引費用 | -- | -- | (1,703) | -- | -- | -- | (666) | (141) | -- |
| その他 | -- | (58) | (112) | -- | -- | -- | -- | -- | 34 |
| 調整後 (GAAP) | \$19,879 | \$3,947 | \$5,487 | \$3,252 | -- | -- | \$12 | \$250 | \$7 |

3. 以下に詳細を示すとおり、2014年度通年の調整後税率は22.4%でした。

| | 2014年12カ月通算 | | |
|-------------|-------------|---------|-------|
| | 法人税控除前 | 法人税 | 税率 |
| 調整前 (GAAP) | \$2,369 | \$595 | 25.1% |
| 特定項目 | 4,555 | 954 | 20.9% |
| 調整後 (非GAAP) | \$6,924 | \$1,549 | 22.4% |